

## 金沢大学附属病院胃腸外科で食道切除再建術を受けられた患者さんへ研究協力をお願いについて

本学では、下記の研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、金沢大学医学倫理審査委員会の審査を受け、金沢大学附属病院長の承認を得て行っているものです。

### 1. 研究の対象

2003年1月～2026年5月に当院で食道切除再建術を受けられた方

### 2. 研究の目的について

研究課題名：

「鏡視下食道切除再建術におけるロボット支援下腹腔鏡下胃管再建の取り組み」

この研究では当科で鏡視下食道切除再建術を施行された患者さんの中で、電子カルテ上の診療情報などのデータを元に、従来から行われていた開腹もしくは用手補助腹腔鏡補助下（Hand assisted laparoscopic surgery: HALS）胃管再建に対するロボット支援下腹腔鏡下（Robot assisted laparoscopic surgery: RALS）胃管再建の有用性と問題点を明らかにすることを目的としています。

### 3. 研究の方法について

この研究では、患者さまの電子カルテ上の診療情報や血液検査、画像検査などのデータを使用します。必要なデータをまとめ、食道癌手術におけるロボット支援下腹腔鏡下胃管再建術の成績と、従来行ってきた開腹ならびにHALS胃管再建術の治療成績の比較検討を行います。

### 4. 研究期間

2021年6月 x x 日（金沢大学医学倫理審査委員会の承認日）～2027年3月31日

### 5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、食道癌に関する治療歴、手術後の合併症等の発生状況、カルテ番号、血液検査結果、画像検査

### 6. 外部への試料・情報の提供・公表

該当なし

### 7. 予想される利益と不利益について

この研究はデータの調査だけを行う研究であり、この研究に参加しても患者さんに直接の利益はありません。予測される不利益として個人情報流出の可能性は0ではありません

が、そういうことがないようにデータの取り扱いについては、外部に漏れることが無いよう細心の注意を払います。

## 8. プライバシーの保護について

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されますので、あなたの個人情報が外部に漏れることは一切ありません。

この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがあります。このような場合、あなたの個人情報などのプライバシーに関するものが公表されることは一切ありません。

## 9. 研究組織

研究責任者 稲木紀幸（金沢大学医薬保健学総合研究科 消化管外科学/乳腺外科学 教授）  
研究分担者 二宮 致（金沢大学附属病院 光学医療診療部 准教授）  
木下 淳（金沢大学附属病院 胃腸外科 助教）  
森山秀樹（金沢大学附属病院 胃腸外科 助教）  
岡本浩一（金沢大学附属病院 胃腸外科 助教）  
山口貴久（金沢大学医薬保健学総合研究科 消化管外科学 協力研究員）

## 10. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

この研究は研究費を必要といたしません。この研究において利害関係のある会社（または関連機関）はありません。

### 11. 研究への不参加の自由について

試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、2027年3月31日までに下記の問い合わせ先までお申出ください。

### 12. 研究に関する窓口

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

研究機関の名称：金沢大学医薬保健研究域医学系  
研究責任者：稲木 紀幸（金沢大学医薬保健学総合研究科 消化管外科学/乳腺外科学 教授）  
問合せ窓口：岡本 浩一（金沢大学附属病院 胃腸外科 助教）  
住所：金沢市宝町13-1  
電話：076-265-2369